

令和元年度第2回豊頃町総合教育会議議事録

- 1 開催日時 令和2年1月29日(水)
16時00分～16時49分
- 2 会場 豊頃町える夢館委員会室
- 3 出席者 豊頃町長 宮口 孝
豊頃町教育委員会
教育長 山本 芳博
教育長職務代理者
櫻井 康雄
委員 宝田 博幸
委員 長濱 竜一
委員 鈴木 千賀子
- 4 出席説明員 豊頃町役場総務課 課長 下重 博光
豊頃町教育委員会 課長 二村比呂志
課長補佐 須藤 裕子
給食センター所長
馬場 雅人
主幹 門 栄
- 5 協議・調整事項
(1) 豊頃町立学校校舎等建築について
(2) プログラミング教育について
(3) その他
- 6 審議経過 次のとおり

令和元年度第2回総合教育会議議事録

<p>二村課長</p>	<p>ただいまから令和元年度第2回豊頃町総合教育会議を開催いたします。本日の会議ですが、宮口町長からご挨拶いただき、その後町長が議長となりまして、次第3の協議・調整事項以降についての進行をしていきたいと思っております。</p> <p>それでははじめに、宮口町長からご挨拶いただきます。お願いします。</p>
<p>宮口町長</p>	<p>みなさん大変ご苦勞様でした。また、お足元の悪い中ありがとうございます。</p> <p>今日のご案内のとおり、学校校舎等建築について、プログラミング教育についてを議題とします。それぞれご意見をいただきながら、適切な結果を出していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>それでは、早速3番目の協議・調整事項に入りたいと思っております。</p> <p>(1)豊頃町立学校校舎等建築について事務局から説明申し上げます。</p>
<p>二村課長</p>	<p>豊頃町立学校校舎等建築についてご説明いたします。</p> <p>1点目は、校舎の耐力度補足調査の結果について。2点目は、校舎の基本設計プロポーザルの審査結果について。3点目は、中学校改築事業に関する各団体、一般住民からの意見についての3点について説明させていただきます。</p> <p>まず、議案の3ページをご覧いただきたいと思っております。前回令和元年第1回総合教育会議の耐力度調査についてご報告させていただいたところですが、その後北海道の協議の中で、こちらの3ページの図面の①-2。この図面の中の真ん中、緑の下のところに3,029点と書いてあるものと4,484点と書いてあるピンクとベージュの四角になっているところがございます。当初本町で考えていた時には調査単位として、施設台帳でもこれが1棟の建物の扱いになっているので、1棟として、報告させていただきましたが、これについては2つに分けて調査することとなりました。令和元年9月の補正予算で委託料を予算化していただきまして、その後札幌にある日建社という設計事務所でこの耐力度調査の補足調査をしていただきました。その結果、北海道の協議がすべて終わり、こちらの図面のとおり全ての調査単位で5,000点以下となりましたので、文部科学省の学校施設環境改善交付金事業危険改築の補助対象の建物となりました。で</p>

すから、この豊頃中学校につきましては補助対象の建物と校舎、屋内体育館全てが対象となったということをご報告させていただきます。

次に2点目としまして、校舎の基本設計のプロポーザルの審査結果についてご説明させていただきたいと思います。A3カラーで資料1と右肩に書いてある図面でございます。それでは説明させていただきます。先週1月23日木曜日のプロポーザルの選定委員会で実施されました、第二次審査で技術提案プレゼンテーション及びヒアリングを実施させていただきました。評価点が最も高かった札幌市の日本都市設計株式会社を最良の提案をしたものとしまして、基本設計業務の随意契約の相手方の候補者、特定者といたしました。また、評価点が次に高かった株式会社札幌日総建を次点者とししました。

このことにつきましては、翌日1月24日にホームページ等で、特定者日本都市設計、次点者札幌日総建と報告させていただいております。

今後の予定としましては、特定者日本都市設計株式会社と随意契約を結んでいくというような形の流れとなっています。それでは、今回特定者業務プロポーザル提案抜粋と書いています、このA3版について少し説明させていただきます。

ここに書かれていますのは1部ですが、このA3の左側の真ん中ぐらいに報徳のおしえを基本とした業務への取り組み体制と書かれています。報徳のおしえを基本とした業務への取り組み体制と小中一貫教育を効果的・効率的に実現可能な小中学校を目指して、既存の豊頃小学校と新しく増築される豊頃中学校をラーニングストリート（報徳のおしえの道）と呼ばれる多目的スペースでつなぐ小中一貫教育導入の先を見据えた豊頃小中学校の提案を高く評価し、特定者として選定したとまとめられています。

そのラーニングストリートですが、このA3版の真ん中の提案した図面上の緑色の波線で書かれている部分が、こちらの設計会社の提案したものの中心的なコンセプトとなっています。この絵の下に児童生徒の段階的成長と義務教育課程の照合の提案がございまして、ここでは段階的成長に応える教室配置として（基礎期）小学校1・2年、3・4年と（定着期）小学校5・6年。そして中学1年。（発展期）中学2年、中学3年として、今までの学年をこえた生活をするなど、小中一貫を見据えた考えを具現化

	<p>するプランはパートナーとして、共に基本設計を完成してきたいと感じさせるものであった。また、建設コストについてもヒアリング等で十分に検討されているということが分かりました。今後の業務にあたる強い意欲と高い評価を期待されるものであるというようなことから選定されています。</p> <p>次に3点目といたしまして、A4で右肩に資料2と書いてあるものがございます。こちらは関係者説明会、意見公募をした際に出た意見です。テーマ別としまして、7つに分類させてもらっています。</p> <p>11団体から51の意見が出されまして、意見公募では8名の方から意見がありました。テーマ別に教育委員会の考え方を書かせていただいております。この後、学校の先生からも詳細部分についてのご意見をいただきながら、改築事業に向けてこれらの意見を反映させて、基本設計にあたっていきたいというような予定でおります。</p> <p>以上が豊頃町立学校校舎等建築についての説明とさせていただきます。</p>
宮口町長	<p>ただいま説明申し上げました。このことについてご質問等あれば伺いたいと思います。</p> <p>一番大切なのは、一貫教育です。一貫教育は現場にいる先生方が一番詳しいと思います。プロポーザルには町長は入りませんが、プロポーザルで点数の高かった会社が決定されました。</p> <p>今日施設課の課長、穴田係長と現地を見てきました。グラウンドとったり、駐車場200台以上とったりするのは無理です。今、学校からはスケートをしているところが見えますが、図面を見ると体育館等が邪魔になって見えなくなっています。雪が溶けたら教育委員さんと現地を確認し、用地的な検討が必要となるような気がします。</p> <p>あそこは埃がすごい。そういったことはプロポーザルの人たちは知らないので、ある程度これから協議するときは、意見を聞いて積極的に窓口の方と協議しなければなりません。</p> <p>本当に体育館が2ついるのかなど、経済効果も考えながらやらないと困ります。議会の意見として言っておきますが、町民には浸透していますか。大津はどうですか。</p>
長濱委員	<p>P T Aや意見交換会をなさったということですから、保育所にも話をしたとか聞いています。P T Aがどう考えているのかなど</p>

	私の耳には入っていませんが、町長がおっしゃったように雪が溶けたら教育委員だけではなく、PTAやこれから関係してくる方を含めて見てもらったらいいと思います。
宮口町長	<p>これも将来のことですが、今茂岩にある保育所も大きすぎて、維持管理費がかかります。もう少しコンパクトで保育所らしい建物を建てようとするとうちでもこの地域に建てることになります。上のグラウンドも下にさげたいということもあるし、スケートリンクのこともあるし、保護者だけが考えるのではなく全体的なことを考えていく問題であると思います。</p> <p>とりあえず雪が溶けて、関係者が見てここまで校舎がきますよ、ここにグラウンドがきますよ、と実際目で見ないと絵を見ても理解が難しいと思います。校舎からグラウンドまで少なくとも相当な幅があった方がいいです。教室からグラウンドから先生方が常に見ることができる形にしないと。配置等を考えるのはこれから実施設計だからまだですか。</p>
山本教育長	これはあくまでも会社が提案してきた内容です。これから実情を踏まえ、決めていくところです。
宮口町長	慎重にみんなが理解できるような形で進めてください。金額もこれでできるのか、しっかり確かめながら行ってください。金額は各学校大体1坪120～130万くらいですが、豊頃町の場合は概算でいうと70～80万くらいですかね。ところが、それでは収まりません。安かろう悪かろうじゃ困ります。実施設計に入るときには、事業費等の正確な見通しが必要ですね。今回はユニークな展望台とかつける予定はあるんですか。
山本教育長	象徴的なものは展望台で十分だと思っております。ただ、コンセプトとして交流が盛んにできるよう、この提案書でいうとラーニングストリートというものが提案されています。
宮口町長	用地の広さとしての考え方はどうですか。
山本教育長	中学校が将来的に今あるソフトボール部や野球部が単一校だけでは厳しい状況になることを考えたときに、中学校跡地の今というソフトボール場、中学校の野球場で活動していけるかなと思います。小学校少年団の野球と体育授業、運動会、体育祭で使えるグラウンドの広さがあればいいと思います。
宮口町長	<p>教育の面だけで考えるだけではなく、産業まつりなどもあるので、広い視野で考えることも必要かと思います。</p> <p>私ばかり話してしまいました。この件について、ご質問ご意見</p>

	<p>ありますか。</p> <p>1 回本当に杭を打って、見てもらったらいいいですね。駐車場はプールの脇の教職員住宅を壊す予定ですが、来年再来年壊すわけではないですよ。建てるどころ見つけないと壊せません。そういうこともあるので、多面的に検討することですね。スケートリンクもここで作るんですか。</p>
山本教育長	スケートリンクも少年団が 20 名ほどなので。
宮口町長	子どもたちがスケートする場所も必要なんでしょ。
山本教育長	学校の授業や子どもたちの活動を保証することでは、そこまで大きい広さのリンクを造成するのは、将来的に厳しいのかなと。造成する方も含めながら考えていきます。
宮口町長	<p>リンクはいると思います。学校から見えるリンクでなければ。そういう建て方も考えなければいけません。</p> <p>体育館はどうですか。一貫教育で体育館は本当に 2 つ必要ですか。2 つになると維持管理が大変ですよ。</p>
二村課長	小学校体育館の増改築等は出来ないことはないのですが、一般的にはなかなか難しいと言われていています。小学校の体育館は中学生が競技をしようとする、できなかつたりします。
宮口町長	今の小学校の体育館を増築なり、改築するなどした金額と新しく建てる金額が変わらないのなら。十分検討する必要がありますね。
山本教育長	<p>今まで教育委員と視察した義務教育学校などを見ると体育館は、北海道がどうしても冬期間外の運動ができない期間があるので、小学校と中学校がそれぞれに室内運動ができる広さということで、どこを見ても体育館が 1 つではなく、中 2 階のところの小体育館を設けたりする形で中学校の競技が可能な広さを確保しつつ、さらにサブ体育館があったりなど小学校も同時にできる体制をとっていました。</p> <p>特に豊頃の場合は建築的に豊小の体育館が RC 造なので改築が厳しい中で中学校用の広さも増築してとなると難しいのかなと思います。</p>
櫻井代理	補助を受ける件ですが、体力度調査の結果が出てからいつまでという期間はないんですか。
二村課長	それは、基本的に無いと思います。今やっている条件になるのが、耐力度ということで。
櫻井代理	それをクリアすれば何年かかっても構わないんですか。

二村課長	耐力度調査をやって、点数はこうだから危険改築で、補助金もらってできるよと、そういう流れが変わらない限り補助事業を受けることは可能だと思います。
宮口町長	補助金が何年までというのが発生すれば、それに対応していくことになりますね。
櫻井代理	その辺が心配です。農家の事業だと、いつまでにやりなさいという期限があるので。
山本教育長	年数が経ち耐力度調査の判定が逆になることは考えられませんが、方向性を明確にし補助申請を前提に基本設計をしていくやり方をしています。
宮口町長	小学校の耐力度がなく、中学校の方へ改築できれば一番いいんですけどね。
山本教育長	平成3年か4年に建てているので、今の中学校でやっと思移転改築の5000点ギリギリの耐力度評価なので、まず豊頃小学校の改築は耐力度が十分なのに認められないと思います。
宮口町長	<p>豊頃町の建物は面積がないところに建てていますよね。給食センターもですよね。保健センターもです。今回もグラウンドという大きな場所がありますが。</p> <p>それと風が強いからそれに対応することも考えていかないと。実施設計に入るときは慎重に考えてください。</p> <p>ご意見があるときはいつでもご連絡ください。</p> <p>(1) 豊頃町立学校校舎等建築については以上とさせていただきます。</p> <p>では、次に(2)プログラミング教育についてです。事務局より説明します。</p>
二村課長	<p>プログラミング教育についてご説明させていただきます。</p> <p>議案の5ページをご覧くださいと思います。</p> <p>令和元年度から3年間、十勝では帯広市稲田小学校と共に実践校として豊頃小学校が指定されました。令和元年度、令和2年度、3年度この3年間指定校としてプログラミング教育を実施していく形になっています。それでは、プログラミング教育の令和元年度の実績報告をさせていただきますと思います。</p> <p>取り組み状況でございますが、指導計画は3年・4年生につきましては1月から3月で検討するというような話を聞いてまして、5年生・6年生につきましては、算数、理科、総合的な学習では、計画どおり実施されているところです。</p>

	<p>公開授業、先進事例等の収集でございますが、豊頃小学校におきましては、1人の先生に担当させることなく豊頃小学校の多くの先生が取り組んでいるところでございます。</p> <p>十勝管内の活動といたしましては、6月から1月までの実績で10回開催されまして、色々な町でプログラミングに取り組んでいるのが分かります。加配の活用ですが、本町では残念ながら加配の人材確保できませんでしたが、今後も加配については強く十勝教育局等に求めて実現していただけるようにしていきたいと思っております。プログラミング教育については、6月に認定されたというようなところで年度の途中からでございますので、令和2年度・3年度の後2年が指定期間ではありますけれど、管内の協力校と研究協議したり、遠隔地についてはICT機器等を活用するなど、遠隔研修も予定していきたいと、プログラミングについては今後子どもたちがプログラミング的思考で物事を考えていくということで、色々想像できない問題を解決していくため事業のほうが進んでいくような形で実施していきたいと考えています。</p> <p>以上、プログラミング教育の本年度の実績を報告して説明を終わらせていただきます。</p>
宮口町長	このことについて何か質問等はございますか。
櫻井代理	これの2番目に加配の活用実施で人材の確保ができなかったというところなのですが、努力はされましたか。期間が途中だからですか。
山本教育長	この部分は、指定を受けたのが7月で人事協議が終わったあとの指定でした。1度は局から加配できる人員の紹介がありましたが、残念ながら学校の状況をきいて人物なりの評価がありましたので、実際は紹介を受けましたが、この方であれば加配を受けても厳しいかなというような人物紹介であったので、令和元年度は当面現状でいきたいということになっています。令和2年度に向けては人事が動いておりますので、極力加配をいただき支障のないように努めていきたいと思っております。
櫻井委員	紹介はあったんですね。でもお断りしたと。
山本教育長	言葉としてはそういうことになります。
櫻井委員	令和2年度は確実にお願いします。
山本教育長	はい。
宮口町長	よろしいですか。

各委員	はい。
宮口町長	それでは、(2)プログラミング教育については以上とします。 (3) その他で何か説明事項はありますか。
山本教育長	私から1点よろしいですか。プログラミング教育もさることながら、実は文科省は令和元年度の補正予算も含めて全国公立小中学校等にGIGAスクールネットワークという形で言葉としては出ていますが、文科省が所有しているコンピューターサーバーを開放するようなことを考えています。3年間の間に児童生徒にタブレットを配布できるような事業を展開して、ICT教育の基礎作りを進めようとしています。今後ICT関係の整備に力を努めていかないとならない状況が全国的に大きな課題となっています。 北海道としては道立学校の遠隔授業なども視野にいれているようです。その前段でプログラミング教育を教育課程の中に入れて込んできている流れです。
宮口町長	今まで色々な形で文科省は出していますが、成功した例というのはないよね。前は、心優しくということでニワトリを飼ったり、うさぎ小屋を建てたり。ゆとり教育をやったり。学力が低下して、今は撤廃しています。
山本教育長	生き抜く力を養わなければいけませんよね。
宮口町長	生き抜くより耐える力ですね。
櫻井委員	直接顔見て、伺いながら勉強しないとダメですよ。
宮口町長	長濱さんはそういった教育を受けてますか。
長濱委員	パソコンとかはやっていましたね。
山本教育長	あと10年したらみんなタブレットもって入学してくるような状況が想像されます。
宮口町長	補佐何か意見はありますか。
須藤補佐	今子どもたちの中でベスト5に入っているのがユーチューバーっていうのが入っているんですよ。面白おかしくして多額のお金を得てとそういうふうになりたいと思っている子どもたちがかなり多いんです。そういうところを見ても、もう時代は変わってきているなど。勤労とかそういう言葉が死語になりつつあるのかなって気がするんです。
宮口町長	どうやってお金が入っているんですか。
山本教育長	広告料ですよ。
須藤補佐	そうです。広告料です。

山本教育長	興味が湧く動画があれば、広告も開くのでアクセスする人が増えて、広告収入が得られます。
宮口町長	そうなんですね。それでは今日はもう締めてもよろしいですか。
各委員	はい。
宮口町長	ありがとうございました。短時間でしたが、それぞれご意見をいただきました。また学校建設については、前向きに検討して行きたいと思っておりますので、委員の皆さんも更なるご協力をお願いいたします。 今日はどうもありがとうございました。